

39. 自然文化を楽しく学ぶ科

【木曜日 授業予定表】 講師：菅井啓之、沖 和行、清水孝之、植松千代美、斉藤明子

					午 前			午 後		
回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	7	金	①	①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)					
	2	13	木	1	自然文化を味わうための自然の見方		菅井啓之①(元京都ノートルダム女子大学教授)	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明		
	3	20	木	2	植物のちから①	植物と人とのつながり	沖 和行①(植物案内人/元神戸薬科大学薬用植物園)	同オリエンテーション(グループ分け)		
	4	27	木	3	森林文化(1)	社寺林から日本の森を考える	菅井啓之②	自主活動		
	5	11	木	4	★森林文化(2)	奈良春日山原始林の散策	菅井啓之③	自主活動		
	6	18	木	5/②	身近な植物 夏編	足元をみつめよう	清水孝之①(六甲の自然を学ぼう会理事長/NHK文化講師)	②社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)		
	7	25	木	6	★植物のちから②	神戸市立森林植物園	沖 和行②	自主活動		
	9	1	木	7	樹(1)	巨樹・巨木の意義を考える	菅井啓之④	自主活動		
	10	8	木	8	植物のちから③	植物の生きるための理由	沖 和行③	”		
	11	15	木	③	③遠 足 (1)					
	12	29	木	9	生きもの暦	季節の移ろいと生きものの活動	清水孝之②	自主活動		
	13	6	木	10	★自然観察①	都市公園での自然観察	菅井啓之⑤	自主活動		
	14	13	木	11	樹木の特性を生かした生き残り戦略	種の分化の過程で生まれた個性を生かした戦略	清水孝之③	”		
	15	20	木	12	森と人とを繋ぐ 植物園の魅力と役割	都市に暮らす私たちにとって森や自然がなぜ、どのように大切なのか!	植松千代美(元大阪公立大学理学部理学研究科助教)	”		
		8			夏 休 み					
2 学 期	16	14	木	13	身近な植物 秋から冬編	足元をみつめよう	清水孝之④	自主活動		
	17	21	木	14	★植物のちから④	神戸布引ハーブ園	沖 和行④	”		
	18	28	木	15	★自然観察②	箕面 竜安寺周辺	菅井啓之⑥	”		
	19	5	木	16	植物好きの植物散歩と標本づくり	周辺の植物解説と葉脈標本づくり	森林インストラクター 斉藤明子	自主活動		
	20	12	木	17	★庭(1)	万博公園日本庭園に学ぶ	菅井啓之⑦	”		
	21	20	金	④	④コーダイジョイフルゲームズ (屋外でのジョイフルゲームズ。雨天中止)					
	22	26	木	18	自然観察(1)	いのちを見つめる自然観察	菅井啓之⑧	自主活動		
	23	2	木	19	★自然観察	武田尾	清水孝之⑤	自主活動		
	24	9	木	⑤	⑤遠 足 (2)・・・(仮日程;2学期の何れかの日に各科で遠足日を設定)					
	25	16	木	⑥	⑥コーダイフェスタ (日程・会場未定)					
26	30	木	20	★樹(2)	京都御苑を散策し樹木に親しむ	菅井啓之⑨	自主活動			
27	7	木	21	植物の不思議!		植松実千代美②	②自主企画講座			
29	14	木	23	自然観察(2)	微小貝から海を見つめる	菅井啓之⑩	自主活動			
				冬 休 み						
3 学 期	30	11	木	24	植物の力⑤		沖 和行⑤	自主活動		
	31	18	木	25	日本的自然観の意義を考える		菅井啓之⑪	”		
	32	25	木	⑦	⑦社会への参加活動・・・(仮日程;1学期～3学期の間に活動日を1回設定)					
	33	8	木	⑧	⑧・⑨修 学 旅 行(1泊2日)					
	34	9	金	⑨						
	35	15	木	26	学習成果発表会 菅井啓之⑫					
36			⑩	⑩修了式						
授 業(自主講座、成果発表会含む)					26(講座数値の1～26)			自主活動	20	
学 習 事 業(①～⑩)					10(講座数値の①～⑩)			★印は校外(教室不要)		
合 計					36					

注)1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。

2022.10.05